

明治大学国際交流基金事業 研究者交流支援制度 報告書

商学部教授 ジェームズ・アンドリュー

研究者氏名 Dr. Stefano Corsi Associate Professor in Agricultural Economics, University of Milan

招聘期間 2024年6月12日～6月20日（9日間）

2024年6月12日に Stefano Corsi 先生が来日しました。私達はアメリカワイン経済学者の学会で数年前に出会って、共同研究の計画をすぐに立てたが、コロナ禍と私の在外研究が理由で2024年までに延期されました。私は商学部生に総合学際演習の授業としてワインを専門的に教えていました。ワインビジネスが中心なので、是非学生に Corsi 先生の公演を聞いたり、一緒に活動したりしたかったです。この活動によって、学生は刺激を受けるのではないか、と期待しました。今回 Corsi 先生は Superstar Wines の研究結果を我々に発表してくれました。他の分野では、Superstar 現象は研究されているようだが、ワインはまだ未知の研究分野らしいです。芸能界やスポーツ会では、ずば抜けて有名な方は Star ではなくて、Superstar と呼ばれています。ファンは Superstar のパフォーマンスを見るため、数倍高い料金を払うが、実際 Superstar と Star のレベルを比較すると、そんなに変わらないと Corsi 先生が説明してくれました。何で Lionel Messi というサッカー選手の給料がそんなに高いかが合理的に考えると不思議です。ワインにも、Superstar 現象があります。一本の Romanee Conti を購入するため 100 万円以上がかかりますが、コストパフォーマンスが悪いのではないか、と思われます。ワイン愛好家に認められている Romanee Conti の場合には、需要が供給を上回っているといえるでしょう。Corsi 先生は6月15日に和泉キャンパス図書館ホールで『Superstar Wines』の公演を15名の学生の前で実施してくれました。公演の中で「ワインスーパースターのはかり方」がとても興味深かいポイントでした。いくつかのワイン雑誌は 100 点のスケールでワインを評価しています。100 点満点のワインは滅多にないが点数だけでは Superstar は生まれません。Corsi 先生がデーターを分析した結果、ワイナリーの評判と生産量の少なさも欠かせなくて、値段に大きな影響を与えます。

15日の公演の後、6名の学生と一緒に吉祥寺で打ち上げをしました。イタリアやミラノの話を詳しく聞く機会だった一方、初来日の Corsi 先生に日本の文化を紹介しなくてはならなかったから、学生にとってとてもいい勉強になりました。James ゼミでは食文化も勉強対象ですので、イタリアと日本の比較が出来て、良かったと思います。



6月15日の打ち上げの様子

6月16日に私と Corsi 先生と 4人のゼミ生は武蔵ワイナリーに行ってきました。学生の企画だったので、交通移動がスムーズにいかなかったり、色々な問題点があったが、社会勉強になったのではないか、と思います。この埼玉県にある小さなワイナリーで、オーナー兼醸造責任者が自ら紹介してくれました。とても貴重な経験になりました。まず、畑で葡萄木の剪定、雨の工夫、暑さ対策等を説明してくれました。Corsi 先生はミラノ周辺でよくフィールドワークをされていますので、日本の生産者の方の辛抱強さと大変さに驚きました。ワイン造りの流れを教えてくれた後ワインテイスティングを行いました。日本のワインは殆ど輸出されてないから、Corsi 先生は飲んだことがありませんでした。彼は値段の高さにびっくりしました。日本では、現地でしか買えないものと季節限定のものはよく売れると言々が説明して、話が盛り上りました。コストパフォーマンスが良くなくても、日本のワインが売れるという事は世界で割と珍しいです。



武蔵ワイナリーの様子

6月19日に Corsi 先生は私のゼミに参加してくれました。Superstar 現象を復習してから、学生はグループで限られた予算でどんなワインを買うかを議論してもらいました。一ヶ月で6万円の予算があれば、どのプランにするかを聞きました：（1）Superstar ワインを3～5本（2）Star ワインを10本（3）データーワインよりワンランク上のものを15本。これで改めてものの価値を様々な観点から考える事が出来て良かったと思います。

19日の午後に青山にあるリーデルというワイングラスマーカーを訪れました。私はリーデルと研究のコラボレーションをした事があるから、Wolfgang Angyal 社長にプレゼンテーションをしてもらう事が出来ました。「高級ワインとワイングラス選び」がテーマだったが、次の共同研究ヒントをたくさん得る事が出来ました。これから学生にいろいろなワイングラス実験に参加してもらいたいと思います。例えば、レストランのソムリエは、香りと味に合うワイングラスを勧めるべきか、高級感を与える美しいグラスを勧めるべきか、という問題がどうしても日本で生じているようです。自分のゼミで実験をしたり、調査をしたりしたいと思います。

とても有意義な共同研究になりました。これからも Corsi 先生と一緒に研究して、口頭発表と論文で結果を知らせたいと思います。どうもありがとうございました。



リーデル社でワイングラスの説明を聞いている Corsi 先生